

色 材 マ テ リ ア ル 講 座

「～持続可能な製品のためのエコデザイン～」

主 催 一般社団法人 色材協会 関西支部

協 賛 (予定)応用物理学会・高分子学会・日本化学会・日本顔料技術協会・日本材料学会関西支部・日本セミックス協会
・日本塗装技術協会・日本塗料工業会・日本粉体技術協会・日本溶射学会・表面技術協会・日本接着学会

昨今の SDG s 運動に伴い、再資源化の気運が高まっています。一方で、プラスチックの着色用顔料や添加剤、アルミ材に塗装された塗膜は、再資源化の際に不純物として母材に含有し、含有量によっては性能や人体に悪影響を与えます。今回は、中堅技術者の方向けに、「サーキュラーテクノロジーと法規制」として、再資源化されたマテリアルに含まれる不純物と、それに関する法規制についてお話しいたします。

産業技術総合研究所様には、アルミニウムのアップサイクルと、再生プラスチックに含まれる不純物とその健康影響についてお話をいただきます。エポキシ樹脂技術協会様には、ビスフェノール類の法規制動向について、総合地球環境学研究所様には、デジタルプロダクトパスポートについてお話をいただきます。特にデジタルプロダクトパスポートは、EU で制度化されることが決定していますが、実態が見え難く、困惑されている方も多いと思います。

現在製品を検討されている中堅の方に役に立つセミナーになっていると思います。

参加を検討いただきますようお願い申し上げます。

日 時：2026 年 2 月 25 日(水) (9:20 ～ 15:20)

会 場：ZOOM によるオンライン開催

演題・講師 (講師・講演内容・講演順序は変更になることがあります)

9:50～10:50 アルミニウムのアップサイクル実現に向けた取り組み

1. アルミニウム 2. アップサイクル 3. 不純物除去 4. 電磁攪拌 5. 規格化・標準化

国立研究開発法人産業技術総合研究所 サーキュラーテクノロジー実装研究センター 尾村 直紀

11:00～12:00 再生プラスチックに含まれる色材関係成分の検出状況

1. 再生プラスチック 2. 安全性評価 3. 循環経済 4. 化学物質管理

国立研究開発法人産業技術総合研究所 サーキュラーテクノロジー実装研究センター 小島 直也

13:00～14:00 ごみから考える持続可能なデザイン

1. ごみ研究 2. 環境デザイン 3. 消費者 4. プラスチック

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 浅利 美鈴

14:10～15:10 ビスフェノール A の法規制動向

1. ビスフェノール A 2. 欧州 REACH 規則 3. 欧州 食品包装材用途 4. 食品安全委員会 5. 内分泌かく乱

一般社団法人 エポキシ樹脂技術協会 EH&S 委員会 大関 一男

受 講 料：会員・協賛学会会員共 21,000 円・会員外 26,200 円・学生 3,100 円 (テキスト代、消費税含む)

定 員：50 名 申込締切：2026 年 2 月 20 日(金) (定員になり次第締め切らせて頂きます。)

申込方法：下記申込書先に記入の上、FAX または E-mail でお申込みください。オンライン開催のため E-mail 必須です。

支払方法：銀行振込

銀行口座：三菱 UFJ 銀行恵比寿支店・普通預金 No. 1547898

名義：一般社団法人 色材協会

※銀行振替の領収証をもって本会からの領収証にかえさせていただきます。

※振込手数料は振込人にてご負担いただきますようお願いいたします。

申 込 先：一般社団法人 色材協会 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-12-8 東京塗料会館 201

(TEL: 03-3443-2811 FAX: 03-3443-3699 E-mail: office@jscm.or.jp)

年 月 日

「色材マテリアル講座」受講申込書

(一社)色材協会 宛

貴名：

勤務先：

所属部署：

所在地：(〒 —)

(TEL：

Fax：

E-mail：

)

※適宜○で囲んでください。

受 講 料：会 員 (所属学会名) ・ 会員外 ・ 学生

送金予定： 月 日

今後開催される色材協会主催の講座について E-mail での案内を希望しますか？ (希望する ・ 希望しない)

(※ 個人情報、色材協会にて管理し、色材協会の行事案内以外使用いたしません。)